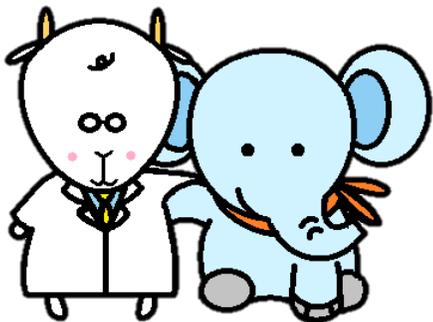


# 発達性学習症/限局性学習症（学習障害） の支援に役立つカウンセリング



西明石カウンセリングオフィス



# 発達性学習症/限局性学習症 (学習障害) とは



# 発達性学習症/限局性学習症（学習障害）

読字、書字表出、算数の困難さが続きます。

## 読字

正確さ、読む速さ、流暢さ、意味理解の難しさの問題

## 書字表出

つづり、鏡文字、文法、句読点、文章の明確さ、文章構成力の問題

## 算数

量の概念、図形の位置関係、時計の短針と長針の混同、計算の正確さ、速さなどの問題



# 予防

大切なことは **早期発見、早期対応** の二次的予防です。  
研修等を通して、症状や対応について学びましょう。

# 治療

不安症などの二次的障害が生じたときに、お薬が必要なことがあります。



# 対応

- **読字の問題**・・・覚えたい単語をイラスト的に書く。録音して音として認識する。大きな文字から徐々に小さな字に縮小しながら読む練習をする。
- **書字表出の問題**・・・五十音表を用いてひらがなの書字練習をする。黒板の書き写しが困難な場合は、プリントやタブレットの利用を検討する。
- **算数の問題**・・・おはじきなど具体物を使用する。数の繰り上げの際に桁が分かりやすいように、枠に色をつけたりする。電卓、パソコンなど機器の利用。

飽きさせない工夫や肯定的な言葉かけなども大切です。



# 対応と関わり



- 学習に対する困難さを汲む。
- 具体的な対応、対策について本人と一緒に考える。
- 身体症状がみられた場合には、丁寧に対応し、休息も取りいれる（保健室や相談室の利用など）。
- 保護者や学校間で情報共有し、共通理解をする。

努力が足りない、保護者・担任の教え方の問題だ、などと決めつけるのは良くありません。



# カウンセリングのできる支援



西明石カウンセリングオフィス

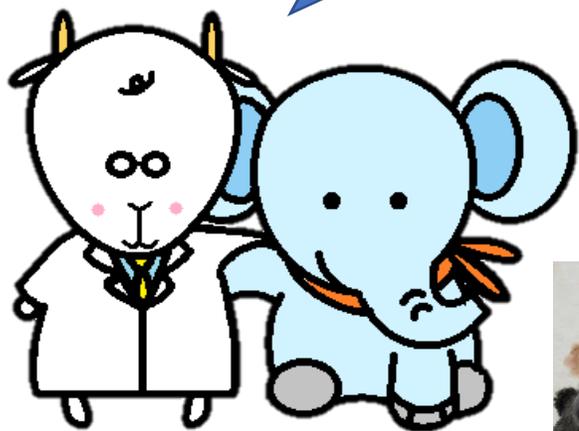


# 発達性学習症/限局性学習症へのカウンセリング

- 本人の話を丁寧にお聴きし、つらさやしんどさ、頑張りに共感的に寄り添います。
- 発達の特性や具体的な困難さを把握し、本人に合ったやり方を一緒に探していきます。
- 二次的障害(ストレスや不安等)が生じている場合にはそちらも対応していきます。
- 本人の頑張りを労いながら、やる気や自己肯定感を損なわないよう関わります。
- 必要に応じて保護者や学校、その他の機関と連携しながら支援していきます。



シリーズで皆さんの参考になることをお伝えします。



## 次回は 発達性協調運動症(DCD)について

